

◎ 4 4 5の保育施設長がイクボス宣言へ＝湯崎広島知事が立ち会い

17/01/31 13:01 NH14

広島県の湯崎英彦知事は31日の記者会見で、県内445の公立・私立保育施設のトップが、2月6日にそろって「イクボス宣言」をすると発表した。保育スタッフが働きやすい職場環境づくりを進め、ワーク・ライフ・バランスを支援していくことを施設長が宣言する。保育サービスの充実に加え、不足している保育士の確保にもつなげたい考えだ。

県によると、保育施設長によるイクボス宣言の動きは全国的にも例がないという。

イクボス宣言に参加するのは、広島県保育連盟連合会に加盟する広島市を除く445の認可保育施設。2015年1月に都道府県知事として初めてイクボス宣言した湯崎知事が立ち会い、連合会の代表らが県庁で宣言する。

湯崎知事は「保育施設は長い開園時間を非常に人手不足の中でやりくりして運営している」と指摘。保育施設長によるイクボス宣言の意義について「保育士の就労環境が改善され、子育てと仕事の両方を支える保育現場が変わっていくことで、子どもの健やかな成長や保護者の安心にもつながっていく」と説明した。

その上で、今回の宣言を機に「保育や働き改革に対する意識変革や行動変容が一層進んでいくよう期待している」と語った。（了）

関連情報

人物 [湯崎英彦氏のプロフィール](#)

※本印刷物は時事通信社 iJAMPサービスから印刷されました。

Copyright Jiji PRESS Ltd. All Rights Reserved.